

2026年4月22日 第551号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

## 総がかり行動実行委員会「19日行動」

# NO WAR！ 憲法変えるな！

憲法共同センターも参加する総がかり行動実行委員会は4月19日、国会前で「NO WAR！憲法変えるな！4・19国会正門前大行動」を行いました。3万6000人が集まり、「憲法を守れ」「戦争反対」と声を上げました。国会周辺は、憲法改悪阻止を誓う市民たちの熱気に包まれた一日となりました。



憲法共同センターの小田川義和さんは主催者あいさつで、高市内閣が進める政治姿勢を強く批判しました。「高市総理は来年春までの改憲発議を目指すと表明しましたが、自民党が掲げる改憲案は国民が国家を仕えるためのものになってしまいます。個人の尊重ではなく、集団の価値を強いる政治への逆行は断固反対です」と語り、戦後最大の危機にある憲法を次世代へ引き継ぐ決意を強調しました。さらに、「アメリカのトランプ大統領の暴走に追従し、自衛隊をホルムズ海峡へ派遣しようとする動きは、市民にとってリスクでしかありません。武力ではなく、対話によって世論を広げ、主権者としての存在を示していきましょう」と呼びかけました。

## 「9条は世界の希望」野党議員が登壇

集会には立憲民主党、日本共産党、社会民主党、沖縄の風など、会派を超えた国会議員らが駆けつけました。

社民党の福島みずほ党首は、高市総理が掲げる「来年春までの改憲」を強く批判。「憲法9条が

あるからこそ、日本はこれまで戦争をせず、自衛隊員も海外で命を落とすことがなかった。この縛りを嫌う政権を退陣させよう」と訴えました。

日本共産党の田村智子委員長は、世界各地で続く紛争に触れ、「武力による支配ではなく、平和のルールを確立することこそが9条を持つ日本の役割です。9条は世界の希望です」と強調しました。

### 「市民監視の道」スパイ防止法への懸念も

衆議院議員の有田芳生氏は、政府が検討を進める「スパイ防止法」について言及。過去の廃案の経緯に触れながら、「プライバシー侵害の恐れがあるこの法律を、世論とメディアの力で再び葬り去らなければならない」と警鐘を鳴らしました。

### 若者や支援現場からも訴え

ステージには一般参加の市民も登壇しました。虐待被害などの少女を支援する「コラボ」の二藤夢野代表は、「国家が戦争に近づくとき、真っ先にないがしろにされるのは女性と子どもの人権です」と述べ、支援現場が受けているバッシングを「民主主義への攻撃だ」と指摘しました。

30歳の男性は、「生まれてから一度も景気のいい時代を経験していない。自分たちが収めた税金が、暮らしのためではなく、武器の購入や軍事費に使われるのは本当に悔しい」と思いを語りました。

### 「3万6000人の熱気」警察の規制を越えて

会場周辺は歩道が溢れかえるほどの混雑となり、参加者は「戦争反対」「武器輸出をやめろ」とコールを繰り返しました。また、新しい署名運動の開始や、5月3日に有明防災公園で開催される「5.3 憲法集会」への参加も呼びかけられました。



### 【当面の行動】

- 4月25日(土) 14:00～ 5.3 憲法集会宣伝…新宿駅東南口
- 5月3日(日) 11:00～ 2026 憲法大集会…有明防災公園
- 5月8日(金) 12:00～ 9の日宣伝…新宿駅東南口
- 5月19日(火) 18:30～ 19日行動…国会正門前

「9条署名」、チラシ  
ダウンロードして  
ご活用ください

<https://www.kyodo-center.jp/>

